



おおばの裕子の

ゆうゆう通信

No.62
2019年8・9月号
日本共産党
市議員
(中原区)
市政報告
044-200-3360

大庭裕子議員の一般質問



大庭裕子市議会議員は、一般質問(7/1)において、左記の4テーマをとりあげました。

- ①総合自治会館周辺地域の活用と小杉再開発にかかわるまちづくり
- ②バス路線の充実
- ③安全対策にかかわる市内道路上の標示
- ④寄り添い型支援の商店街施策等

【質問1】自治会館周辺地域の活用…市民の要望をいかし、策定の過程や手法を明らかに…

●地域住民との合意形成 不十分
総合自治会館用地周辺地域の活用については、地域から具体的な要望が出されている「災害時に避難できる一時避難場所としてのスペースの確保」や懸案となっている。

川崎市議会2019年第2回定例会

(6月10日～7月3日)

「老人憩いの家」を含む現在の施設の活用や「市有地を定期借地」などについて、「合意形成は全くなされていない」と指摘しました。また、2月26日に「川崎市総合自治会館周辺地域の活用」の検討に関するサウンディング調査の結果の説明会が、地元町内会会長などを対象に行われましたが、その説明をしたことをもって、理解を得たとするようないざなうに質しました。

まちづくり局長は「調査の結果」の報告であるとし、「地域ニーズなどを把握することは重要と認識している」「引き続き、意見交換会やパブリックコメントを実施するなど、取組を進めていく」「今年度中に策定」する、との答弁でした。

大庭議員は「地域の要望をふまえたうえで、事業者の提案を明示しなければ、地域の要望が反映される補償はない」と、厳しく指摘し、市民の要望をいかし、策定の過程や手法を明らかにするよう求めました。

めしました。

●老人憩いの家・保育所の整備の促進を求める

大庭議員は、今井中学校区の老人憩いの家の整備の進捗と引き続き休日急患診療所跡地の中原区保育園仮園舎後の活用継続を含め、区役所敷地内に認可保育所の整備を要望しました。

●コアパークの維持管理を市の責任で

また、イベント会場にもなる東急南口のコアパークの清掃については町内会・商店街など地域頼みにはすべきではないと指摘し、建設緑政局長は、「中原区役所や管理運営協議会、鉄道事業者と連携を図りながら、検討している」との答弁がありました。

【質問2】「利用実態調査」を踏まえ、市内バス路線の充実を

「下小田中南部また井田の地域内にバスの新路線を」

2019年度、市内バス路線のネットワークのニーズの多様化を進めるための「利用実態調査」が実施され、バス路線の充実を求める期待が寄せられています。

大庭議員は、中原区の下小田中南部また井田の地域内での交通アクセスの不便さについては、繰り返しとりあげてきました。臨港バスが運行する、武蔵中原駅から新川崎までの区間路線について、「昼間の運行の復活」を求めるとともに、国際交流センターをはじめ公的な施設が集中する地域にバス運行の新路線を検討するよう、質しました。

まちづくり局長は、「利用実態調査」に加え、「駅や公共施設へのアクセス強化や、路線バスが利用しにくい地域特性、地域需要等を踏まえ、様々な観点から検討を進める」と答弁しました。

その他、大庭議員は、フロントアールの試合の日のバス混雑時の改善を求め、交通局長は、「調整をはかる」と、答弁しました。

さらに、中原区役所前バス停のベンチと上屋の設置について、大庭議員は、現在、管理する東急バスに求めることと合わせ、区役所内の敷地を利用して整備すべきと要望しました。

中原区役所前のバス停周辺



中原区役所前

上屋の設置を要望
のところにベンチ、

【質問3】横断歩道や停止線など「消えている標示」の改善を
市民が活用する生活道路上の横断歩道や停止線などの標示が、消えている箇所が多数あります。



規制標示と指示標示については、神奈川県警の「交通管理者」が管理する部分ですが、市民から市に対して補修の陳情を受けた場合、県警に補修要請するだけで、陳情箇所など記録し把握してないことがわかり、副市長に指摘し、質すと「交通管理者と連携し、安全対策に取り組み」との答弁でした。大庭議員は、県警と連携を強めて、幹線道路や子どもたちの通学路などを優先に改善するよう要望しました。

【質問4】「寄り添い型支援」で商店街の活性化を―新城商店街―

本市は、商店街から一番出されている悩みの「役員の後継化不足」「高齢化にともなう継続」が課題

であるとしています。

大庭議員は、新城商店街振興組合でも話しを聞いたことをもとに、質問をしました。

新城商店街振興組合では、20年前から商店街のおかみさん会が中心に、月に1回ほのぼの市を開いて、フリーマーケットや出店、路上ライブなどの演奏の場を作るなど、商店街を盛りあげてきました。おかみさん会のメンバーの大半が高齢となり、準備や後片付けなどができなくなったことから、長年続けてきたほのぼの市もできなくなり、「残念」とお話ししました。継続してきた路上ライブは、

多いときは60名にもなり、遠方から来るバンドのファンも生まれましたが、6月に惜しまれながら最終コンサートが行われました。



3月24日路上ライブ

その他、商店主の中には、会合などの場に参加しきれない状況があるとのこと。自力で取り組むことが困難な商店街は、他の地域でも存在し支援が必要となつていきます。本市では、専門家派遣や指導援助などのコンサルティング事業を行い、アドバイスをしています。各商店街の実態に合った新しい提案とともに、一緒に動く人がいないと前に進めません。商店街に職員を配置し、実践を行

「神奈川・横浜の夜間中学を考える会」など、市内諸団体(計24団体)との意見交換会(7月23日~31日)

2020年度の予算要望をまとめるため、市内各諸団体約24団体と共産党市議団との意見交換会が行われ、各議員分担し、私は8団体と懇談しました。

今年度、初めて「神奈川・横浜の夜間中学を考える会」と懇談を行いました。川崎市には西中原中学校に夜間中学がありますが、「中学校夜間学級における教育を統一的に担当する部署を設け、位置づけてほしい」など、必要としている人たちへの周知を含め、実態調査の必要性を実感しました。その他どの団体の要望も切実な内容であり、議会での質問に多いに生かしていきます。



うことを基本に実態把握が必要です。運営主体を拡充するために若手の発掘や育成をするなど、継続的な寄り添い型の支援を実践している大阪市の事例なども紹介し、本市でも取り入れるべきと質しました。

経済労働局長は、「職員等が現場で商店街と一緒に考え」、取り組むとの答弁がありました。大庭議員は、継続的な人の配置するためにも商店街振興の予算を増やしていくことが必要と、要望しました。



中原区防災訓練が井田小学校で開催(7月28日)



(市古じろう市議とともに)

台風の影響で心配された防災訓練は、予定通りに開催されました。1年もたつと防災用具など、進化発展しています。アルファ化米もかなりおいしく、防災トイレも使いやすいものになってきていました。今回、初めて降雨体験車に乗り、大雨を体験しました。親子で参加して、水害被害ついて話しをする機会になります。多くの市民に防災訓練に参加してもらうことは引き続きの課題です。

○武蔵中原駅に市立図書館の返却ボックス設置

党市議団が実施した市民アンケートの返信に「返却ボックス」の要望があり、市に働きかけ設置されました。

7月1日から利用開始されています。



地域の要望が実現しました

○下小田中4丁目カーブミラーの改良鏡を一面追加してもらいました



※訂正：前号(第61号)カーブミラー設置場所 上新城6丁目→2丁目



「おおぼ裕子と」

生活保護利用者に対する偏見や誤解が、現在利用されている方々や利用しようと思っている方々の心を傷つけていることを、多くの市民に知ってもらいたいと生活保護のしおりの改善について、繰り返し議会で取り上げてきました。その結果、この4月から、各内区役所などの窓口で市民に生活保護の理解を深めるための、リーフレットが新たに作成され、置かれています。憲法25条「生存権が明記され、疑問に思っていることについて追加されています。一人でも多くの市民が目にして、身近で生活に困っている方がいれば、知らせてあげること大事なことだと思えます。さらなる充実改善は必要と思えますが、ぜひ一度手に取ってみてください。

井田2丁目在住 奥津洋子(元劇団員)



おおぼ裕子さんに期待します